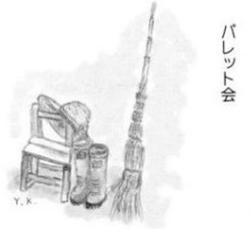


# 泉の自治だより

題字 田中伸一

No. 119

発行所 泉町連合区  
発行責任者 連合区会長 田中伸一  
事務局 (泉公民館内)  
土岐市泉中寮町 TEL 55-3653  
編集部長 額 健二



## 泉町連合区より平成28年度要望書が市へ提出されました

泉町連合区からの要望の他、泉町各区（河合、定林寺、駅前、大富、久尻）からの要望書も市へ提出されました。

七月十一日に山内泉町選出市議団  
团长同行のもと、加藤市長に今年度  
の泉町連合区要望書を提出してきま  
した。  
内容は別表にありますが、昨年か  
らの継続事項が五項と新規事項が一  
項です。  
特に泉公民館の建設は永年の懸案  
事項でありましたが、敷地の問題等で  
大変ハードルが高く、又、新庁舎の  
建設が五十億円の予算で平成三十  
一年度完成を目指し計画が進んでお  
りますので、公民館の早期建設の実  
現が困難な現状であります。  
連合区としては、建設を諦めるの  
ではなく、泉公民館の利用者に便利  
な改善を最優先に要望しました。  
この間「泉児童センター」等  
の建設も同様であります。泉町に  
は公有地がありませんが、泉町に  
は今後は、泉町選出市議団とも協議  
をしながら要望を続けてまいります  
ので、町民の皆様のご理解・ご支援  
をお願い致します。  
新規要望の駅前広場拡張に伴う駅  
周辺パトロールの詰め所につきまし  
ては、現在の駅前交番の跡地に同じ  
様な詰め所を予定しております。  
以上が本年度の要望書の要点です。  
それと要望書とは話題が変わりま  
す。自治だよりの紙面を借りまし  
て、町民の皆様へお願いがありま  
す。現在、土岐市では皆様の協力によ  
り資源ゴミの回収が行われておりま  
すが、最近市内にて資源ゴミの持ち  
去りが多く発生しております。  
資源回収は自治会の要望で始まり  
市にその代行業務をして頂いており  
ます。

昨年、二十七年年度の泉町の地元選  
元金は約四百万円あり、自治会運営  
費に大きく貢献しています。本当に  
有難うございます。  
今後とも、ゴミの減量化にも繋がる  
資源回収にご理解・ご協力をお願い  
致します。  
そして、持ち去り防止の為に面  
倒ですが当日の提出にもご理解をお  
願致します。  
最後にありますが、今後とも泉町  
連合区の活動にご支援・ご協力をよ  
ろしくお願い申し上げます。

七月十一日に山内泉町選出市議団  
团长同行のもと、加藤市長に今年度  
の泉町連合区要望書を提出してきま  
した。  
内容は別表にありますが、昨年か  
らの継続事項が五項と新規事項が一  
項です。  
特に泉公民館の建設は永年の懸案  
事項でありましたが、敷地の問題等で  
大変ハードルが高く、又、新庁舎の  
建設が五十億円の予算で平成三十  
一年度完成を目指し計画が進んでお  
りますので、公民館の早期建設の実  
現が困難な現状であります。  
連合区としては、建設を諦めるの  
ではなく、泉公民館の利用者に便利  
な改善を最優先に要望しました。  
この間「泉児童センター」等  
の建設も同様であります。泉町に  
は公有地がありませんが、泉町に  
は今後は、泉町選出市議団とも協議  
をしながら要望を続けてまいります  
ので、町民の皆様のご理解・ご支援  
をお願い致します。  
新規要望の駅前広場拡張に伴う駅  
周辺パトロールの詰め所につきまし  
ては、現在の駅前交番の跡地に同じ  
様な詰め所を予定しております。  
以上が本年度の要望書の要点です。  
それと要望書とは話題が変わりま  
す。自治だよりの紙面を借りまし  
て、町民の皆様へお願いがありま  
す。現在、土岐市では皆様の協力によ  
り資源ゴミの回収が行われておりま  
すが、最近市内にて資源ゴミの持ち  
去りが多く発生しております。  
資源回収は自治会の要望で始まり  
市にその代行業務をして頂いており  
ます。

七月十一日に山内泉町選出市議団  
团长同行のもと、加藤市長に今年度  
の泉町連合区要望書を提出してきま  
した。  
内容は別表にありますが、昨年か  
らの継続事項が五項と新規事項が一  
項です。  
特に泉公民館の建設は永年の懸案  
事項でありましたが、敷地の問題等で  
大変ハードルが高く、又、新庁舎の  
建設が五十億円の予算で平成三十  
一年度完成を目指し計画が進んでお  
りますので、公民館の早期建設の実  
現が困難な現状であります。  
連合区としては、建設を諦めるの  
ではなく、泉公民館の利用者に便利  
な改善を最優先に要望しました。  
この間「泉児童センター」等  
の建設も同様であります。泉町に  
は公有地がありませんが、泉町に  
は今後は、泉町選出市議団とも協議  
をしながら要望を続けてまいります  
ので、町民の皆様のご理解・ご支援  
をお願い致します。  
新規要望の駅前広場拡張に伴う駅  
周辺パトロールの詰め所につきまし  
ては、現在の駅前交番の跡地に同じ  
様な詰め所を予定しております。  
以上が本年度の要望書の要点です。  
それと要望書とは話題が変わりま  
す。自治だよりの紙面を借りまし  
て、町民の皆様へお願いがありま  
す。現在、土岐市では皆様の協力によ  
り資源ゴミの回収が行われておりま  
すが、最近市内にて資源ゴミの持ち  
去りが多く発生しております。  
資源回収は自治会の要望で始まり  
市にその代行業務をして頂いており  
ます。

平成二十八年度  
市への要望事項  
泉町連合区会長  
田中伸一

### 平成28年度 泉町連合区要望書

項目	要望事項	要望の要旨
1. 施設の建設促進	(1) 泉町認定こども園建設計画に対する地元要望 (継続)	貴市から「泉町認定こども園について」の建設計画を平成26年5月12日に泉町連合区および泉公民館建設小委員会に対して初めての説明が有り、それ以降平成26年10月2日にセラトピアにて泉町全体を対象とした説明会、平成27年1月28日に泉公民館で大徳町・梅の木町・西寮町を主とした地域説明会が有りました。 「いずみ保育園」・「みつば保育園」・「泉幼稚園」の3園を統合して「泉町認定こども園」を大徳原球場に建設する事がベストで有るとの事でしたが、地元からは大徳原球場周辺の道路および環境の整備・大徳原球場の廃止に伴う地元代替施設の整備等の課題の指摘が有り、これらの課題解決策を地元住民に説明し同意を得るよう要望して来ました。 「みつば保育園」は耐震補強が可能とのこと、「いずみ保育園」は耐震補強が技術的に出来ないとのこと、「久尻保育園」は通園する道路が非常に狭く、また駐車場が大変少ない環境であります。 本年4月には熊本地震が発生し、公共施設等も被害にあっていました。早急に園児等の安心安全対策が必要と考えます。 この3つの保育園の現状を考慮し、認定こども園の建設計画を示すよう要望します。
	(2) 泉公民館の建設促進を要望 (継続)	泉公民館は、市内で利用率（平成27年度では44団体・延べ約3万2千名の利用）の最も高い公民館ですが、建築面積は他の公民館の半分で600㎡と狭く、昭和56年に建設されて35年を経過し、給排水設備等の老朽化と建設当時の設備内容では不十分で生涯学習施設としては利用づらい状況にあります。 さらには駐車場は6台分しかなく最も深刻です。 このような状況である為、泉連合区として平成11年頃より毎年泉公民館の建設を継続して要望して来ました。そして平成19年度には「泉公民館建設委員会」立ち上げ、広く町民の意見を集約し建設要望を進めて来ました。 平成26年度の貴市からの市営大徳球場に「泉町認定こども園」の建設計画を進められる場合には、長年の懸案事項となつています泉公民館の建設計画と並行して進めて戴けますよう要望します。 なお、「泉町認定こども園」の建設および泉公民館建設計画までに数年かかると思われまふ。この間に現在の泉公民館を幼児から高齢者まで幅広い層が利用しやすいように、駐車場対策・バリアフリー対策・エレベータ・洋式トイレ等の整備の対応が必要と考えます。 現在最も深刻なのは駐車スペースが6台分しかない事です。 また、駐車場から出る時、垣根により視界を遮られ道路の車が見えなく、大変危険な状況です。 垣根を取り払うことにより、危険を除去し駐車スペースの拡大を図り、少しでも多く駐車できるよう強く要望します。
	(3) 泉児童センターの建設促進を要望 (継続)	泉児童センターは、平成9年から一校区一児童館の方針に基づき泉西校区に泉西児童館の建設要望をして参りましたが、平成16年になって市から児童館が担って来た未就園児やかぎっ子対策について、幼稚園での3歳児の受入や保育園での子育て支援センターの設置、小学校での放課後教室の設置に伴い「児童館・児童センター」の見直しが必要との理由により泉西校区での児童館建設が後退されました。 そこで以前から泉児童館の老朽化と駐車場の狭さが問題となつていたので、平成20年から泉町一つの「泉児童センター」の建設要望を継続して来ました。 去る平成26年5月12日貴市からの「(仮称)泉認定こども園」の建設計画によりまふと、認定こども園に併設して「子育て支援センター」が設置されるとのことですが、子育て支援センターは未就園児が対象であり、小学生の児童は対象とはなつていません。 現在、泉・泉西小学校での放課後教室が学童保育の補完的な役割を果たしていますが、放課後教室に行けない児童もいます。 児童センターでは、児童同士が互いに交流し、社会学習や体験学習など多く役割を果たしています。 人口減少が予測される中であつて、国の「骨太の方針」で子育て支援が重要な柱として位置づけられていますように保育園、幼稚園、児童センター、小学校、中学校、公民館等が一体となつて、あらゆる機会を捉えて子育て支援のできる環境づくりが求められています。 よつて、新たな認定こども園の建設計画の推進に当たつては、泉児童館は駐車場が狭く老朽化しておりますので、泉児童センターの建設計画を含めた建設計画を策定されますよう強く要望します。
	(4) 土岐市駅前広場再開発時、パトロール詰め所の建設を要望	平成16年から駅前周辺パトロールを各種団体の協力を得て、年間を通し実施しています。この時、旧駅前交番をパトロール用備品、パトロール日誌の配置、またパトロール者の詰所として使用しています。 土岐市駅前広場の再開発計画が進んでいるところですが、この広場にパトロールの詰所として使用できる、警察官立寄り所の建設を要望します。
2. 道路の建設	(1) 国道19号線・池の上交差点から中央自動車道新丸石橋経由五斗峠までの道路建設を要望 (継続)	本要望道路は、平成15年度に「住民参画型道づくり委員会」で協議し、その成果による要望であります。 現在、土岐アクアシルヴァの企業誘致、県道土岐可児線の道路整備が進み、交通量が飛躍的に伸びて来ており、国道19号に出る車が多くなり渋滞が発生している。このため寺上町中央道および久尻保育園から西原町を通り国道19号へ抜ける車があり、この地域の生活環境が大変危険になっています。 池の上交差点から五斗峠までの新設道路建設について、今後とも早期実現して戴くよう強く要望します。 なお、県道土岐可児線の土岐アクアシルヴァから環境センターへの進入道路となる交差点の改良工事が進められていますが、引き続き南進して工事を進めて戴き、池の上交差点からは緑ヶ丘町に向けては、北進して工事を進めて戴きますようお願いいたします。
3. その他事項	(1) 「陶祖碑」の移転について (継続)	榎公園内に巨大な陶祖碑が建設されて半世紀以上が経過し、美濃陶祖（加藤景延公）の顕彰記念碑として市民に親しまれて来ました。 毎年、春の陶祖祭には市民挙げて遺徳を偲び祭りが執り行われて来ました。 しかし、築60年以上を経過し、近年、南海トラフを震源とする巨大地震の発生が想定される中、今年4月には熊本地震が発生しており、倒壊が大変に心配される状況にあります。 榎公園は児童公園であり、公園内にこのような危険性がある「碑」が建立されていると住民も安心して過ごすことが出来ません。 「美濃陶祖奉賛会」でも移築について思慮されておられ、住民の安全を考慮するうえで地元駅前区に移築についての協力依頼がありました。 つきましては、公園を安心して使用できるように碑の移築等、安全対策を実施するよう要望します。

# 「泉町笑顔の集い」

泉町青少年育成会長 安江 年正

平成二十八年五月二十一日 泉中学校にて「泉町笑顔の集い」(旧名:泉町青少年育成会議)が開催されました。

今年度も多くの団体及び個人の皆様に多大なるご協力を頂き、参加頂きました多くの町民の方々からも、たくさんのご支援を頂きました。

また、主催者側の不手際により一部の方々には大変なご迷惑をおかけしました。

町民の皆様には、この場をお借りしてお礼を申し上げると共に、「ご迷惑をおかけした方々には深くお詫びを申し上げます。今回の反省を教訓に、来年度以降の運営及び今年度の活動にも十分な配慮を持って取り組んでいく所存です。

さて、この「笑顔の集い」だけでなく四月から六月にかけて、多くの組織が活動を開始し、様々な集いが開催されました。私も立場、多くの会議に出席させて頂きました。

毎年行われている会議でも、それぞれに目的があり、その目的に対して最適化された方法で運営(協議)がなされていることにいまさらながら感じました。

「笑顔の集い」の目的は、地域による青少年の育成活動について、各組織の相互協力とそれに関

わる全ての人々が持つている使命感を確認することです。

この様に記述すると、現実感や親近感を感じて頂くのが難しい上に、それを主催する側にとつても、何をどう伝えたら良いのか(興味を持ってもらえるのか)迷うところでもありません。

『「笑顔の集い」は「青少年の主張」を聞く場である。』という意見を聞きます。その様に与えて頂くことに全く問題はありませんが、前述の「本来の目的」を踏まえた上で、「青少年の主張」を提供していることの本意は、以下の二つにありま

す。

- 一、対象者である現実の子供に対して、真剣に向き合い意見や考えに接すること。
- 二、子供の可能性や可塑性(かそ)性を感じたり感動したりすることで、大人自身が自らを振り返り、今後の生活姿勢に生かしていこうとすること。

今年も「笑顔の集い」では泉町の小中高校生が、堂々と主張を行い多くの方々から、感動の声を頂きました。「青年の主張」を提供することの意味と重要性を改めて痛感しました。それと共に、当日のスタッフや司会・進行

として参加して頂いた中学生、また吹奏楽部のみなさんや、土岐少年少女



合唱団のみなさん、そして感動的なメッセージと笑顔を残してくれた昨年度の泉中卒業生のみなさん、彼らの個性的で自主的なパフォーマンスと、自信あふれるパワーは、来ていただいた人々の全てに感動と勇気を与えてくれたと確信しています。

今後の「笑顔の集い」及び育成会活動につきましても、子供に対して真剣に向き合い、子供の自主性と自由な発想を尊重していくという方向性をもって、活動運営に取り組んでいく所存です。今後におきましても、皆様方のご協力とご理解を頂くことができれば幸いです。

## 平成二十八年年度 泉町笑顔の集い(泉町青少年育成会議) 「青少年の主張」発表内容

去る五月二十一日(土)泉中学校で平成二十八年年度泉町青少年育成会議が開催され、その概要については前号でお知らせしましたが、今号では、「青少年の主張」で発表された内容を掲載します。

### 命を大切に

泉中学校 大嶽 蓮

みなさんは命を大切にしていますか。命の大切さを知っていますか。私はこれから命の大切さについて、私の体験したことを話します。

私は二〇〇一年、九月四日に生まれました。生まれつきかぜをひきやすかったそうです。三才の時、私はインフルエンザにかかりなかなかおきません。おかしなところ、精密検査を行いました。すると私は再生不良性貧血という血液の病気ということが分かりました。私は状況がみこめないなか、大きな病院に入院することになりました。輸血をしたり、骨髄検査をしたりとても辛かったです。そして九月後に退院してもへモグロビンや血小板がとても低く、すぐにあざができてきたり少し走るだけでとても疲れたりしていました。そんな生活が七年も続きました。

小学校四年生になり私は名古屋大学病院という病院をすすめられ、行きました。すると医師から骨髄移植をすると言われました。しかし移植をするにはドナーさんが必要です。ドナーさんが見つかるのはとても大変で長い間探し、ようやくみつかり移植することになりました。移植する前に抗がん剤の入った点滴をしなければいけません。その点滴の副作用によって吐き気やかみの毛がぬけてしまします。それは人生で体験したことがないほど辛かったです。ついに移植する日がやってきました。夜の七時から十時までドナーさんの骨髄を十五時間にわたって移植をしました。移植は無事成功することでできました。しかし成功しても私は免疫抑制剤を使用していたため肺炎などの病気がかかるといわれて死んでしまう可能性がありました。私は医師か

らその話を聞いた時、ものすごく怖くなって夜も眠れなくなりました。でも運良く病気がかかるとはならず、免疫も回復してきました。そしてたった四ヶ月で退院という医師や看護師もおどろくほどすごい回復力でした。

そして私は今中学三年生です。病気はほぼ完治しましたが、まだ定期的に病院に行っています。しかし私は今とても元気に通っています。こうして今、元気に学校へ通えているのは周りの人々の支えや、友達、そして家族とくに入院中いつもそばで私を支えてくれて、今でも病院につきそってくれる母親のおかげで私は元気でいられます。一人では生きていけません。一人では病気をなおせません。周りの人々の支えがあつて私はここまでできています。なので私に骨髄を提供してくださったドナーさん、そして私を支えてくれた皆さんの人々に本当に感謝の気持ちで胸がいっぱいです。

私はこの経験をきっかけに絶対に命をそまつにはしてはいけないと感じました。最近、いじめを苦に自殺したり、親など身近な人を殺すなどという話をよく耳にします。このような現実を見たり聞いたりすると、とても悲しくなります。

私はこのような行動は命をかくるべきだと思っています。私は病気になるまで命の重みを知ることができた。ただでなく、多くの人が私の命を大切にしてくれていることを実感しました。いろいろな人の支えによって生かされているこの命を、これか

### わたしの暮らし 土岐市の発展を願っています。

泉小学校 奥谷 V/A/S

私たちが住んでいる土岐市にはアウトレットがあり、県内外から多くの人がおとすれます。五年後には、大きなショッピングセンターもできるようなのです。土岐市にいろいろなものができる、生活が便利になるのでとてもうれしく思っています。さらに周辺にはぎわうこと、まちがいありません。しかし半面、土岐市の街中のにぎわいが……。私は、そこにさみしさを感じています。

みなさんは土岐市の特色物をご存知ですか?美濃焼です。私の父は、美濃焼の陶人形を作る仕事をしています。だから、私にとって美濃焼はとても身近で大切なものなのです。

父が折り紙で作ったものを参考にアイデアを紙に書いたり、さらに新しいものを考えたり、お客様のリクエストに応えようとしていたりして、日々頑張っている姿をよく目にしました。そんな父の姿から、作り手の努力と知識を知ってもらい、地場産業の美濃焼が発展していくことを願わずに、

私も大切にしていきたいです。そして私自身も私以外の命を大切にしていきたいです。

「美濃焼の特徴が分る公園」を造ることで、まず、その公園を土岐市の形にします。そしてその中に、八つの町の特徴

を表す陶器で遊具を作つて置きます。泉では湯のみやかっぱ、駄知ではどんぶり、下石ではとっくりや「とっくりとくくん」肥田では昔から作っている小皿、です。湯のみを砂場に見立てて砂を入れ、どんぶりを逆さまにしてジャンブルジムみたいにして登れるようにしたり。いろいろ工夫ができると思います。美濃焼を体で触って感じてほしいのです。土岐市民だけでなく、初めて来た人でも、遊びながら美濃焼のことを知ってもらうことができると思います。

三つ目は、土岐市内で行われる『祭り』をより多くの皆さんに知ってもらうための活動を積極的に行うことです。定林寺まつり・美濃焼団地まつり・セラトピアで行われるまつりなど泉町だけでなく、市内ならもっとたくさん楽しい陶器まつりがあ

ります。どこで、どんなお祭りが行われるかをアウトレットや大型スーパーなどの店頭、地元の小中学生が描いたチラシやポスターを張ったり置いたりしてもらいます。そして、土岐市以外からのお客さんに知らせたいです。また、駅や市役所などにも置いてもらいたい。土岐市民にも広く知らせたいです。そして、街の中心にいったい誰を呼びたいのです。

これが私の考える土岐市をよりあげていくことです。今は陶器祭りではにぎわいを見せる土岐市ですが、このような方策でいづれ多くの人々がおとずれやすく、魅力ある土岐市になっていくのではないのでしょうか。私はち小中学生が大人になったとき、人であふれる元気でにぎやかな土岐市にしていきたいと思っています！

## 泉町の未来を語る

東濃フロンティア高校 佐村 由花

私は、高校に入學するときに心に決めていたことがあります。それは、ありのままに生きること、そして、夢を見つけることです。

中学時代の私は、他人に自分の意見を言うことが苦手でした。苦手と言うものがありませんでした。多くの人の意見を聞

いて、ただなんとなくそれに合わせて生きる、そんな学校生活でした。そんなふうになんかだんだんと自分が何を考えているのかも、何を思っているのかもわからなくなってきました。その母の望むように生きることもなく、目標としている人もいませんでした。私は夢を考え直す必要に

せまられました。この母の一言をきくたびに、高校で夢を見つけ、自分自身の生き方をもう一度考えなくてはならないと決意し、東濃フロンティア高校に入學しました。私が高校で頑張りたいことを、ここで二つ宣言します。まず勉強です。中学生の頃は勉強がとても苦手でした。授業の内容も理解できませんでした。高校では、苦手な数学と英語の力を伸ばしていきたいと思っています。そのため、英単語や数式を覚えようと自分なりに勉強をしています。そして大学に進学したいと思っています。高校の三年間で自分に合った進路を見つけていきたいと思います。もう一つ高校で頑張りたいことは、アルバイトです。私の家は母子家庭のため、経済的に余裕がありません。アルバイトは大変なことばかりで、働くことの大変さを思い知りました。しかし、大学に進学するためにもアルバイトを頑張る、勉強と両立をしていきたいと思います。

ただ、それでも、私は母のために生きることを続けたいと思います。母のために、自分もやりたいこと、そんな夢をこの先見つけていきたいと思っています。もしかしたら、それは私が一番やりたいことではないかもしれませんが、夢が、見つけられない

かもしません。けれど、母のために生き、自分のためになる、そんな夢を追うことが「私」という「自分」だと思うのです。私が母にもらったように、母を守り、母に守ってもらった自分を大切にしたいと強く願うので、自分を大切にできない人は、周囲の人も大切にできないと言います。私は母を大切にするために、自分を大切に、今後の人生に向き合っていきます。

## 夏祭り盆踊りの輪

泉町連合区女性部長 成瀬 菊代

暑かった夏も、朝夕涼しく感じる季節に変わろうとしています。

女性部の活動、大きな取り組みである夏祭り、四月の市民踊り実行委員会へ泉連合女性部長として出席し、緊張している私に踊りの先生が「楽しくやろうね」と声をかけてくださいました。自分の顔が綻んだことを今でも覚えています。

こうして、いよいよ盆踊りのスタートです。六月の連合区の練習、初日の為、覚えようと必死だったセラトピアでの

総合練習、各地区での練習、多くの皆様に暑い中参加していただき、ありがとうございました。そして本番、各地区の夏祭り、集大成の織部祭り今年もまた、御指導をいただいた先生、御協力をいただいた地域の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました。

各地区の夏祭り、地域の皆様の優しい心使い、笑顔、楽しく踊りに参加させていただきました。市民踊り、花火が上がっている中、生演奏、太鼓の力強い響き、色鮮やかな浴衣姿の女性、若者、多数参加で大きな輪になりました。皆様が楽しんで踊る、皆様が楽しんで踊れる、それぞれの地域での準備から、設営、後片付けまで、スタッフの皆様がいてくださるからで、感謝を申し上げます。

伝統である盆踊り、幼き時、毎年楽しみにしていた盆踊り、こうして踊っている自分、これからも踊り続けたいと思う自分、守り続けていきたいと思っています。また皆様と大きな輪を作れますように。本当にありがとうございました。



泉町民球大会終了  
五月十五日(日)から始まった泉町民球大会が、六月十九日(日)に終了しました。結果は、日之出町が東寮町を四対三で破り、みごと連覇しました。関係者の皆さん、大変お疲れでした。

閉会式では、勝利監督に日之出町の竹田豊様、最優秀選手は日之出町の飯島啓太様、優秀選手は東寮町の丸山卓也様がそれぞれ表彰され、泉町体育協会会長の東泰秀様による閉式の辞をもって、約一か月にわたった熱戦が閉幕しました。

No118号(6月15日発行)の役員名簿(6月15日発行)の訂正  
No118号(6月15日発行)の役員名簿(6月15日発行)の訂正  
訂正  
河内町 会長 義  
中 村 義  
中 村 貞  
中 村 貞

# 知っておきたい郷土の歴史 土岐氏と大富館旧跡(2)

土岐市郷土史同好会員 大東 義美

泉町大富（おほいけ）小字繩手（なづな）の御所公園の南西の一角に『美濃国土岐源氏発祥地』『大富館跡土岐章書』の石碑が建っている。この碑の揮毫は、かつて上野国（群馬県）沼田城主土岐源氏の後裔（子孫）土岐章氏である。

大富館跡はこの繩手に接した小字御所にある。御所は今も尚東西八十間（約百四十四メートル）南北百四十間（約二百五十メートル）ある。その外に明治三十四（一九三四年）年、中央線開通のため、御所が南北に分断されているが、その鉄道の敷地も御所の一部であった。

明治六（一八七三）年小字改正の節、御所の御は恐れ多いというので、伍に改められている。折角の此の碑も心なき人の犬の散歩等で時折荒れていたが、近來は小倉勝雄恒雄氏、近在の小倉勝雄氏らの奉仕で美化が保たれている。時には研究のために訪れる人もあるという。

後醍醐天皇の御代（正応元年―一二八八―延元四―一三三九）年に土岐一族の惣領として末子の頼貞が土岐氏の拠点として、此処に館を築いた。館は平城（平地）に築いた



七九）年来日、建長寺の住持に、弘安五（一二八二）年に円覚寺を開山、禪宗を發展させた。鎌倉時代禪宗が幕府の保護を受けたのは座禅を組み、自らの力で悟りを開くことを求めたのが武士の気風に合ったからである。頼貞はこうした宗教的背景があつて美濃国下河井村（定林寺）に禪宗大寺院瑞雲山定林寺を開山し、開祖はすでに他界の無学祖元とし、第一祖は高弟の高峰顕日とした。そして、亡父光定の三十三回忌の法要を行った。今日尚この地域一帯の禪宗の繁栄の基礎は頼貞の功績である。

館があつた。

『土岐累代記』美濃諸旧記の記述に、浅野館に住んだ光定、その子頼貞は土岐郡高田（大富）に住む。後鎌倉へ下向して北条家に仕える。その子は大変多い。とある。頼貞の母覚曇は北条氏の出身で宋僧（帰化僧）無学祖元の法弟であつた。頼貞が少年の頃、母に連れられて、租元に会つたとき、「将来大器になるだろう。」と賛辞を受けたと伝えられる。

無学祖元（嘉禄二（一二二六）年―弘安九（一二八六）年）は鎌倉時代中期、幕府執権北条時宗に招かれて、弘安二（一二二

（家名を継ぎ統べ治めること）として勢力があつた。その大富館に後醍醐天皇の勅を奉じた日野資朝卿が訪れて、頼貞と討幕の密計を練つたのである。正中元（一三三四）年討幕の機が来て頼貞は十男頼兼を総大将、多治見国長を副将として京都へ先発させたが、まさかと夢想だにしなかつた頼兼の従兄弟の回り忠（朝廷が北条氏を亡ぼす謀を幕府に知らせたこと）により決行直前の九月十九日の夜明け方、六波羅に集まつた軍勢三千余騎が二手に分かれて土岐宿所、多治見宿所を襲撃した。不意をつかれて八時頃から十二時頃まで戦い、壮絶な死を遂げた。

また、頼貞は高田勅使田の地頭も兼ており、勅使田は皇室関係の費用にあてるために勅旨によつて開墾された公田で、当時の高田郷は土岐郡北部一帯で、大富、久尻、下河合（定林寺）、元久尻欠梁、高田、月吉、戸狩等までを含む二毛作の収穫豊かな広い地域であつた。

頼貞は深く禪宗に帰依し、文武両道に秀れ、歌人として有名で、一族の惣領



## 平成28年度泉町のイベントカレンダー（10月～3月）

月	イベント	主 催	開 催 日	会 場
10	泉町民運動会	泉町体育協会	10/2(日)	泉中学校グラウンド
	秋の例大祭	久尻、白山、八幡(河合)、稲荷(定林寺)各神社	10/9(日)	各神社
	泉中学校吹奏楽部定期演奏会	泉中学校	10/10(月)	文化プラザ
	美濃焼伝統工芸品まつり	美濃焼伝統工芸品まつり実行委員会	10/22(土)～23(日)	美濃焼伝統産業会館陶芸村
	土岐市スポーツ少年団秋季大会	土岐市スポーツ少年団	10/29(土)～10/30(日)	土岐市総合公園
11	土岐市美術展(幼少年の部)	土岐市(文化振興事業団)	11/4(金)～11/6(日)	セラトピア土岐
	ふれあいウォーク	泉町青少年育成会	11/3(木)	安土城跡周辺
	七五三	久尻神社、白山神社	11/12(土)～13(日)	久尻神社、白山神社
	市民音楽祭(合唱、吹奏楽)	土岐市(文化振興事業団)	11/13(日)	文化プラザ
	土岐市美術展(一般の部)	土岐市(文化振興事業団)	11/17(木)～20(日)	セラトピア土岐
	市民音楽祭(軽音楽、バンド)	土岐市(文化振興事業団)	11/20(日)	文化プラザ
	泉町公民館祭	泉公民館、泉西公民館	11/20(日)	泉公民館、泉西公民館
	土岐市農業祭	土岐市農業祭実行委員会	11/23(水)	セラトピア土岐
1	土岐市民ロードレース大会	土岐市(スポーツ振興課)	11/27(日)	土岐川河川敷廻り
	初詣	久尻、白山、八幡(河合)、稲荷(定林寺)各神社	1/1(日)	各神社
	新年歩け歩け大会	泉町体育協会	1/1(日)	泉町内
	出初め式	土岐市消防署、泉町消防団	1/8(日)	
	御灯祭(どんど焼)	久尻神社	1/9(月)	久尻神社
	新春百人一首大会	泉町青少年育成会	1/14(土)	泉西公民館
2	左義長祭	白山神社	1/15(日)	白山神社
	節分祭	久尻神社	2/5(日)	久尻神社
3	土岐市一周駅伝	土岐市(スポーツ振興課)	2/19(日)	
	泉中学校卒業式	泉中学校	3/7(火)	泉中学校
	初午祭	久尻、白山、稲荷(定林寺)各神社	3/12(日)	各神社
	泉小学校・泉西小学校卒業式	泉小学校、泉西小学校	3/23(木)	泉小学校、泉西小学校